

ウンシュウミカン園における炭酸カルシウム水和剤を使った チャノキイロアザミウマ及び黒点病防除体系

背景 チャノキイロアザミウマと黒点病はウンシュウミカンの主要病害虫であり、年間を通して防除が行われるが、特にアザミウマ類は、同系統の農薬の連続使用により薬剤抵抗性の生じる恐れがある。また、黒点病に効果の高いマンゼブ水和剤は、1作4回以内という使用回数制限がある。そこで、これらの問題解決のため、化学農薬ではない物理的防除効果が期待できる炭酸カルシウム製剤を利用した防除体系を検討した。

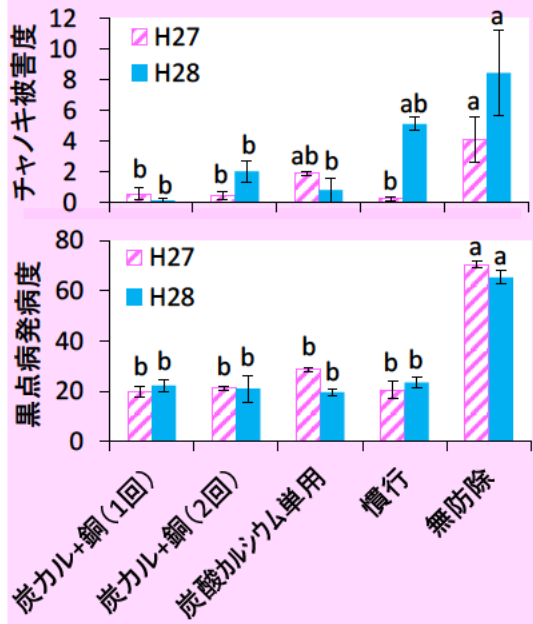
炭酸カルシウム水和剤と銅水和剤を使った防除体系

体系	5月		6月		7月			8月
	下	上	中	下	上	中	下	上
慣行			オイル 殺虫 殺菌剤	殺虫剤	殺虫剤 +	殺菌剤		殺虫剤
炭カル+銅 (1回)			炭カル 銅水和	殺虫剤 +	炭カル 殺菌剤		殺虫剤 +	
炭カル+銅 (2回)	オイル		炭カル 銅水和	殺菌剤	炭カル 銅水和		殺菌剤	
炭カル単用			炭カル		炭カル			

※希釈倍率
炭カル 50 倍
銅水和 1,000 倍

※炭カル製剤:類白色水和性粉末・45 μm 以下の製剤、銅水和剤:塩基性硫酸銅 23.0% (銅として 12.9%) を使用

【チャノキイロアザミウマの被害度と黒点病の発病度】



6月中旬と7月上中旬の慣行防除剤1回または2回を物理的防除に置き換えても、慣行防除と同等もしくはそれ以下まで被害を抑えられる。

【果実品質への影響】

処理区	果実重 (g)	着色歩合	果肉色 (CC)	BX (%)	クエン酸 (%)
炭カル+銅(1回)	52.1	0.7	6.2	11.3	1.04
炭カル+銅(2回)	59.4	0.8	5.7	11.1	0.97
炭酸カルシウム単用	65.1	0.7	5.8	10.8	1.01
慣行	54.7	0.7	5.8	10.3	1.06
無防除	57.5	1.0	5.7	11.3	1.32

※H28.9.13に収穫した果実について、常法により品質調査した

炭酸カルシウム水和剤を散布すると、樹全体が白く汚れるが、品質には大きな影響はない。

注意

- ・今回使用した炭酸カルシウム水和剤は、チャノキイロアザミウマには登録があるが、黒点病には登録がない
- ・炭酸カルシウム水和剤単用または銅水和剤との混用は、慣行防除剤に比べて耐雨性の劣る可能性がある
- ・炭酸カルシウム水和剤は、果実表面に白い薬斑が残りやすいので、散布は7月までとする



お問い合わせ先	三重県農業研究所	紀南果樹研究室	電話 05979-2-0008
参考になる資料	http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm		